

パワーあふれる投信会社 社員コメント集

■ メタバースのさわかみヴィレッジ? 【運用調査部/大澤】

15年以上前、当社には“ヴィレッジ計画”がありました。長期投資で世界の成長を推進してくれる企業を応援しながら経済的に自立し、生活費があまりかからない自然豊かな地方で過ごしやすい生活をファンド仲間と追求していく構想でした。現実社会では諸事情から困難となりましたが、仮想空間であれば計画の一部は実現できるかもしれません。ただ、メタバースという仮想空間で地球の息遣いを感じることができるのが新たな問題です。

■ 桜咲く公園 【運用調査部/歌代】

まん延防止措置解除が見込まれる中、東北で強い地震がありつつも、良い一日になるよう、苔玉から育てた4年目の桜の開花を楽しみにしています。2015年4月の子ども子育て支援新制度で幼保一体化と教育無償化が進んだ7年でした。民間保育園ではフリマに替わる子育て用品の交換プラットフォーム開設が始まり、ニューノーマル子育てファミリーの時間価値を高め、安心できる居場所を創る試みには働き方改革の継続も必要と思います。

■ 私の新しい投資先 【確定拠出年金部/利根川】

3月からピラティスを始めました！運動神経には自信がある私ですが、体験に行くと正しい動作が全くできず、今まで体の使い方なんて全くわかっていなかったと思い知る事になりました。ピラティスはリハビリのために生まれ、身体と心をコントロールし耐久性のある体を追求できるものですが、その動きの影響は脳神経系にも及び瞑想効果や心のバランスも保つのだそうです。自分の体は一生ものですので、大切にしていこうと思います！

■ 1兆円企業と1万円の投資家 【運用調査部/佐藤】

売上1兆円超の投資先企業とのトップ面談で個人の力を実感した。投資責任者やアナリストの声を通じて、先方が耳を傾けていたのは11万7千名のファンド仲間の存在だ。さわかみファンド3千億円は0歳からご高齢の方々まで一人ひとりの資産から成り立っている。1万円の投資から、経済や地球環境に影響力をもつ企業へ意思を表明する。世界の上位1%の富裕層が4割の資産を保有する格差の時代に、金融の民主化も始まっている。

■ 安売リニッポン 【直販部/田中】

最近日本円の実力が27年前の半分になったという記事がありました。欧米や中国の方が、日本は安いと言って爆買いする現象も起きています。モノを買ってくれる分には良いのですが、土地や水源を買われるのは不気味です。日本株についても、株主の3分の1は外国人という状態になってしまいました。このままでは日本人がいくら働いても最終的な利益は外国に持っていかれます。日本人の金融資産で取り返したいと思う今日この頃です。

■ 父の遺志 【直販部/林野】

父は生前「自分が死んだら献体をする」と慈恵医大に献体の登録をしました。医大生の解剖実習のお供をするというお務めです。父の葬儀から2年あまり経った今年2月、慈恵医大にて父のお骨と共に感謝状を頂くという式に参列しました。実習に臨む学生さんの覚悟は相当なものだったでしょう。「教科書には一般的なことしか書いていない。人の身体は一人ひとりまったく違うのだと知りました」という実習生代表の方の言葉は一生忘れません。

■ 私は何屋さん? 【運用調査部/西島】

以前、近所の精肉店に通いだした話を当欄で取り上げたが、先日その店頭でシニアの女性とこんなやり取りがあった。「何屋さんをやっらっしゃるの?」「あ、これは家族用なんですよ…」「え? お店をやっらっしゃるんじゃないの? じゃあ、すごい大家族なんですわ」「いえ、夫婦と小学生の娘の3人家族です」「……」その女性は馬鹿にされた?ような困惑した表情で黙った。10キロ以上買う時は気の利いたウソを用意しようと思つた。

■ I'm SPARTAN 【情報システム部/尾関】

先日スパルタンレースという5kmの障害物競走に出ました。重い球をもって歩いたり、泥の中を匍匐前進したり、途中は過酷で帰りたくなるのですが、終わるとやりたくなる。不思議なものです。次は10kmのレースに出ることにしました。ただ103kgの私に10kmは限界のさらに先。いま必死に皇居を走っています。半蔵門あたりで夜ひっくり返っている人がいたら私ですので、やかんの水でもかけていただければと思います。